内閣府 沖縄総合事務局
農林水産部の紹介



令和８年10月

内閣府 沖縄総合事務局 農林水産部

目　次

組織・業務内容

沖縄総合事務局とは	2
沖縄の農林水産業の特徴	3
農林水産部のミッション	5
農林水産部の役割	6
農林水産部の組織体制	7
農林水産部の主な業務	8
農林水産部が行う支援・整備等の取組事例	9
農林水産部が関与する沖縄県農林水産業の様々な取組	10
農林水産部の業務風景	12

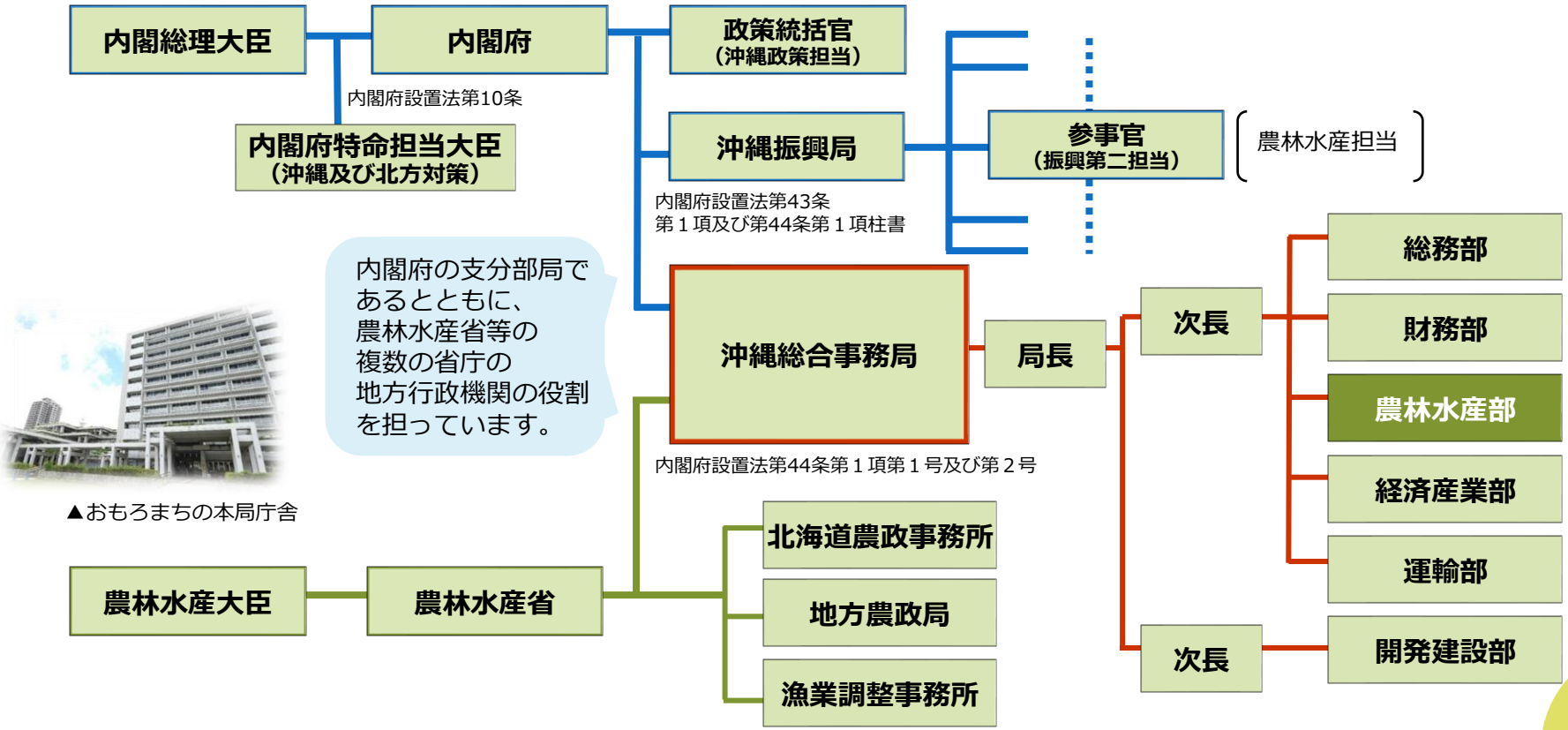
働く環境・採用情報

農林水産部に配属された場合の勤務地	13
採用区分とキャリアパス	14
人材育成	17
若手職員の業務を紹介！	18
農林水産部の One Day ～とある一日～	19
技術区分採用の先輩職員に聞く仕事の魅力	20
行政区分採用の先輩職員からのメッセージ	21
ワークライフバランス	22
仕事と家庭の両立体験談	24
国家公務員一般職（大卒程度）の勤務条件	25
よくある質問	26
採用情報に関するご案内	27

沖縄総合事務局とは

沖縄総合事務局は、昭和47年５月15日の沖縄の本土復帰と同時に、沖縄の振興開発を一元的、効率的に推進するため、 沖縄開発庁の地方支分部局として設けられた国の総合出先機関です。
平成13年１月６日の省庁再編により、内閣府の地方支分部局として再編されました。
その仕事は、ダム、道路、港湾、空港などの整備、農林水産業の基盤整備等の公共事業やその他沖縄の振興に直接関係のある各省庁の地方支分部局の仕事を広く含んでおり、職員は那覇市おもろまち所在の本局に設置された総務部、財務部、農林水産部、経済産業部、開発建設部及び運輸部の６つの部と本島中南部・北部や先島などに設置された19の出先事務所で働いています。

(参考)沖縄総合事務局の位置付け



沖縄の農林水産業の特徴①

沖縄では、亜熱帯地域の温暖な気候と広大な海に囲まれた地理的特性を活かし、各地で多彩な農林漁業の生産活動が行われています。

夏期にはマンゴー、パインアップル等の熱帯果樹が出荷される一方、国内産が端境期となる冬春期にはいんげん、トマト、かぼちゃ等も出荷されており、一部地域では米の二期作も行われています。

台風の常襲など厳しい自然環境にありますが、特に離島や北部では、さとうきびをはじめ、果樹、畜産等の農林水産業が地域経済を支えています。



県経済全体における農林水産業(第１次産業)の割合を見ると就業者数、総生産額のいずれも全国平均を上回ります。

離島では、産業就業者数や総生産額に占める農林水産業の割合が県平均と比べてもさらに高く、農林水産業が島内の経済の中で極めて重要な役割を果たしていることがわかります。

また、農林水産業と関係の深い食品産業についても、沖縄の製造業全体に占める食料品製造業の割合は、事業所数、従業者数、出荷額のいずれも全国平均を大きく上回る等、地域の経済の中で重要な役割を果たしています。

沖縄の農林水産業の特徴②

主な農林水産物

さとうきび
県内約６割の農業経営体が栽培する沖縄の基幹作物

収穫面積 全国１位！



ゴーヤー
温暖な気候を活かし冬春期には全国に供給される主力野菜

収穫量 全国１位！



マンゴー
温暖な気候を活かして県内各地で栽培されている主力果実

収穫量 全国１位！



パインアップル
本島北部や八重山地方を中心に生産され、収穫量は全国のほぼ100%を占める

収穫量 全国１位！



シークヮーサー
本島北部を中心に生産され、収穫量は全国のほぼ100%を占める

収穫量 全国１位！



キク
本島を中心に生産され、冬春期に全国へ供給される主力花き

出荷量 全国２位！



豚
古くから沖縄の食文化を支え、沖縄特産の豚(アグー)に代表される肉豚等を生産

飼養頭数 全国15位



子牛(肉用牛)
年間を通じて安定的に生産される牧草を利用した繁殖経営が主

子牛取引頭数 全国４位



もずく
養殖業により、収獲量は全国のほぼ100%を占める

収穫量 全国１位！



まぐろ
近海の豊富な海洋資源に恵まれ、全国有数の漁獲量を誇る

漁獲量 全国７位



農林水産部のミッション

沖縄の「食」と「環境」を未来に継承し、沖縄の振興に寄与します

「食」は人々の生活を豊かにするとともに生命を支えています。

また、日本の食を支える農林水産業は、食料生産だけでなく、
地域社会の維持・発展を担う重要な産業です。

沖縄総合事務局農林水産部は、

生命を支える**「食」**と安心して暮らせる**「環境」**を
未来の子どもたちに**継承**するという農林水産省の使命を

地域・現場レベルで**遂行**することで
沖縄の農林水産業の振興、農山漁村の活性化に
寄与すべく、業務に取り組んでいます。

農林水産部の役割

農林水産部は、農林水産省の出先機関である地方農政局の所掌する業務や、農水省の外局である林野庁・水産庁の所掌事務の一部を実施する組織として設けられており、農林水産省及び内閣府（沖縄振興）が所掌する業務を現場段階で取り組んでいます。

中央

政策の企画立案

- 基本的な方針の作成、課題の設定
- 課題に対する政策手法（法令・事業）の検討
- 政府内・外部との調整、国会での質疑対応
- 法令作成・予算確保

地方

政策の実行

- 現場への政策の周知
- 法令、事業等の執行（検査、補助金交付等）
- 政策情報の収集
- 現場の課題やニーズの把握

指示・連携・報告

フィードバック

沖縄総合事務局農林水産部が行う業務

農林水産部では、沖縄の農林水産業の振興、農山漁村の活性化を図っていくために、生産や消費の現場により近い国の機関として、

①食料・農業・農村に関する施策の普及・地域の実態の把握
②農業・林業・水産業・食品産業の振興
③農業経営の改善
④農村・漁村・中山間地域の活性化
⑤農業農村整備事業の実施
⑥食品表示の監視・指導と消費者行政
⑦農林水産統計の作成

など、地域の実情に合った各般の施策を実施しています。

その他、社会資本の整備や産業振興など国による沖縄振興施策を一元的に実施する内閣府沖縄総合事務局の一員として、局内他部と連携し、市町村による地域振興施策や、観光等の課題にも横断的に取り組んでいます。

農林水産部の組織体制

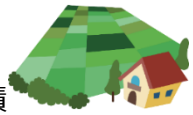
農林水産部の組織は、沖縄総合事務局本局での各担当課、現地の出先機関からなっており、当局採用職員のほか、農林水産省等から出向している職員が勤務しています（定員：224名（令和８年４月））。

農林水産部長

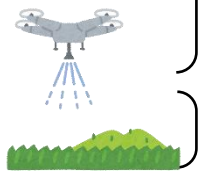
総務調整官

首席企画指導官

- **農政課**（**総合農政推進官**）
  部内の総合調整、企画立案、庶務、農協等検査、情報システム、農林水産施策全般にわたる相談、情報の受発信　等



- **経営課**
  農業経営体の育成、経営所得安定対策、新規就農、農地の集積（農地中間管理機構等）、農地転用規制、農協指導監督　等
- **農村振興課**（**農村活性化推進室**）
  農業農村整備事業（国営かんがい排水事業の調査・計画・実施など）、災害復旧、農村活性化政策の総合推進、多面的機能支払、中山間地域等直接支払、都市と農山漁村の交流促進、鳥獣被害防止対策、農林水産業の６次産業化、地産地消　等
- **生産振興課**（**畜産振興室**）
  農産物（さとうきび・野菜・果実・花き等）及び畜産物（肉用牛、豚等）の生産振興、みどりの食料システム戦略及びスマート農業の推進、環境保全型農業の推進、草地整備　等



- **統計調査課**
  全国統一基準で行う統計調査　等



- **消費・安全課**
  食品の安全性向上の取組、食品表示及び米穀等トレーサビリティの監視、家畜防疫及び植物防疫の対策、消費者への情報提供　等
- **食料産業課**
  食品産業の振興、バイオマス利活用、食品産業における環境の保全、地理的表示保護制度の推進、輸出促進、食育　等



- **林務水産課**
  治山、森林整備、森林病害虫の防除、災害復旧、漁業取締り、水産基盤整備、水産の資源管理・回復　等



（出先機関）
農林水産センター（那覇、名護、宮古島、石垣）
土地改良総合事務所
農業水利事業所（宮古圏域、石垣島）

農林水産部の主な業務

農林水産部の業務は、県内事業者の取組支援から、営農の基盤となるインフラの整備、指導・取締り業務等の公権限の行使に至るまで多岐にわたります。

主な業務	農林漁業者や食品事業者の取組支援	農地・農業水利施設、漁港等のインフラ整備	各種統計データの整備	食品表示適正化やトレーサビリティの確保	漁業取締りの実施
業務方法	○各種補助事業等による必要経費の助成 ○法令に基づく計画認定	○国や県等が、公共事業として自ら整備 （経費も行政機関が負担）	○農政施策の企画立案やその実施に必要な統計データを自ら整備	○法令に基づき、食品の生産や流通に関わる事業者等を監視・指導	○法令に基づき、違法操業を取締り （拿捕等の司法警察権を有する）
	事業者支援 ←→			→ 指導・取締り（公権限の行使）	
当局職員の具体的な業務内容 （担当課等）	○事業者等の事業計画作成への助言・指導 ○補助事業等の申請内容審査、補助金の交付 ○補助事業等に必要な予算の本省との協議 ○担い手への農地利用集積 （食料産業課、生産振興課経営課、農村振興課林務水産課　等）	○国営事業では、 ・地元説明・合意形成 ・整備・営農方向の調査 ・計画作成、設計、施工 ・事業効果の検証 ○県・団体営事業では、 ・事業計画の審査、補助金の交付 （農村振興課、生産振興課林務水産課 各農業水利事業所　等）	○農林漁業者の経営収支等のデータについて農家訪問等により調査 ○農家数、耕地面積、生産量等について、調査票の郵送等により調査 （統計調査課 各農林水産センター）	○疑義情報等による調査、立入検査 ○違反事業者への行政指導、是正状況の確認 ○水産流通適正化法に基づく巡回調査 ○消費者庁等の関係機関との連絡調整 （消費・安全課 各農林水産センター）	○漁業監督指導官が、沖縄周辺海域において漁業取締船・航空機により違法操業を取締り ○取締り結果のとりまとめ、水産庁への報告 ○海上保安庁等の関係機関との連絡・調整 （林務水産課）
国と県の役割の違い	○法令等に基づき全国各地で実施すべき事業・制度は国が担当 （可能なものから県に移管）	○農業水利施設等は国が、中小規模なものは県・市町村等が実施 （農地・農業水利施設整備の場合）	○国の施策の企画立案等に必要な統計は全国統一的手法で国が整備 （県等は現場でのデータ取得に協力）	○全国チェーン等の広域事業者は国が、県域事業者は県が担当 （食品表示監視の場合）	○領海、排他的経済水域の外国漁船、日本漁船は国が、地先海域は県が取締りを担当

農林水産部が行う支援・整備等の取組事例

農林水産部における主要な取組

＜生産基盤の整備＞

○　地下ダム等のかんがい施設の直轄整備を実施

○　農地集積・集約化、農業の高付加価値化に取り組む地区の農地整備等への支援を実施

○　草地造成・草地改良等の飼料生産基盤の整備と農業用施設等の一体的な整備による畜産主産地の形成に向けた取組への支援を実施

＜園芸産地支援＞

○　高性能な機械・施設の導入や栽培体系の転換等の総合的な支援を実施



地下ダム止水壁の施工



生産施設の整備

＜さとうきびの生産振興＞

○　ハーベスター等の導入支援など、各種事業による増産支援を実施

○　製糖工場における人材確保・育成や省力化機械導入、黒糖の販売力強化、季節工等の宿舎の整備等への支援を実施

＜水産業の成長産業化＞

○　安心・安全な水産物の安定供給を実現するための漁港・漁場整備への支援を実施

○　漁業秩序維持のため、違法操業外国漁船の取締りを実施



大型ハーベスターによるさとうきびの収穫



漁業取締船による台湾漁船の拿捕



◀草地整備

その他、意欲ある経営体の育成に必要な生産・加工施設の整備や、治山施設、漁港等のインフラ整備、各種事業に対する助成、指導や食の安全・安心を確保するための業務を行っています。

漁港の整備▶





▲統計調査



▲牛トレーサビリティ制度



▲防災林の造成（木製防災工）

沖縄県の農林水産業における様々な取組①

輸出促進

㈱八重山食肉センター（石垣市）

和牛肉の輸出拡大を推進するため、(株)八重山食肉センターでは従前のタイ、マカオに加え、新たに台湾、シンガポールへの輸出に向け、輸出先国の衛生管理に合致する施設整備を実施。高単価の価格帯を期待できる牛肉の品質の確保、継続した輸出への取組に向け、JETROなど輸出支援機関とも連携し輸出拡大に向けた活動を推進。



八重山食肉センター



石垣牛のタイ向け
パンフレット


タイでの商談の様子

スマート農業

野原伸也氏ほか生産者及びサービス事業者（八重瀬町）

八重瀬町のさとうきび生産者は、自動操舵機能付きトラクターによる請負作業の効率化や、機械の作業効率を高める枕地の確保等を内容とする「生産方式革新実施計画」について、令和７年９月に沖縄県内初となる農林水産大臣の認定を取得。関係機関と連携しスマート農業技術の活用を促進。


自動操舵機能付きトラクター



認定証授与の様子

みどりの食料システム戦略①

EF Polymer株式会社（恩納村）

OIST（沖縄科学技術大学院大学）発のスタートアップ企業であるEF Polymer株式会社が開発した超吸水性ポリマーは、農作物の残渣を原料とする100%自然由来の生分解性資材で、農地に散布することで土壌の保水力・保肥力を向上させ、農作物の収量の増加や農家の潅水・肥料コスト低減に貢献。







超吸水性ＥＦポリマー製品

みどりの食料システム戦略②

農業生産法人有限会社伊盛牧場（石垣市）

伊盛牧場では、飼養牛の排せつ物を堆肥化し、自社の牧草地で使用するほか、除草剤の使用を抑える等の環境負荷低減に向けた取組を実施。

令和７年７月、沖縄県内の畜産分野で初めて「環境負荷低減事業活動実施計画」の認定（みどり認定）を取得。


自給牧草を食べる乳牛



環境負荷低減の取組内容例

沖縄県の農林水産業における様々な取組②

農泊

やんばる暮らし文化継承協議会（国頭村）

地域課題である空き家・空き地を活用し、古集落特有の歴史文化に身を置く滞在拠点(宿泊施設)を整備するとともに、地域住民と連携して伝統ハーブ等を活用した食事メニューや体験プログラムの開発、集落案内ガイドの育成等を実施。


やんばるホテル南溟森室


サンゴの苗づくり


インバウンド受け入れ

農福連携

医療法人 陽和会（糸満市）

医療法人で所有している畑を活用し、法人で行っている就労継続支援事業の訓練として農作業を行うため、栽培技術の習得を行うとともに、休憩室兼作業施設の整備を実施。


畝作りの様子


収穫した野菜の販売


整備した休憩室兼作業施設

ブランド価値の向上

琉球泡盛テロワールプロジェクト

泡盛原料用米（長粒種米）を県内で生産して泡盛のブランド価値を高め、その魅力を最大限ＰＲするため、国、県、ＪＡ、酒造組合などによる「琉球泡盛テロワールプロジェクト」を実施。泡盛原料用米を県内で生産することで、沖縄の水田農業の活性化を期待。


伊是名島での長粒種米（北陸193号）栽培状況


長粒種米を使用して製造されたテロワール泡盛

環境保全型農業・GI

ＪＡおきなわ具志頭支店野菜生産部会 ピーマン専門部（八重瀬町）

JAおきなわ具志頭支店野菜生産部会ピーマン専門部では、化学肥料・化学農薬の使用量低減などの環境に配慮した農業生産を実施。また、令和６年１月には地理的表示（GI）保護制度において登録。


ほ場の様子


ぐしちゃんピーマン



農林水産部の業務風景



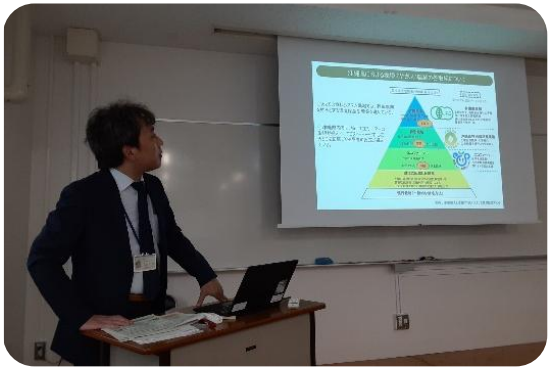
補助事業等現場視察



施策等説明会



情報収集



出前授業



県や市町村との意見交換・相談対応



実演会等の開催



打合せ

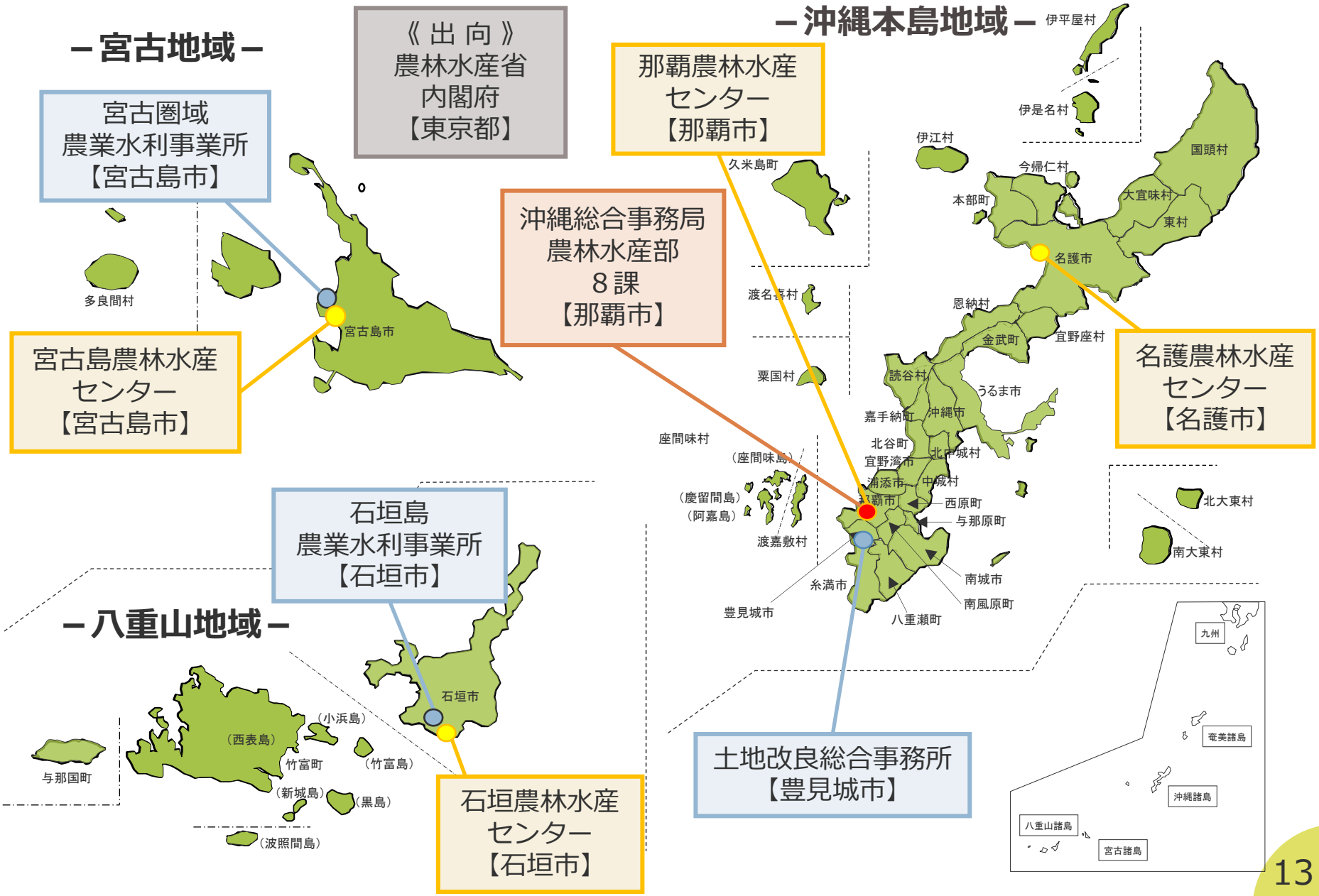


漁業取締り



広報活動（SNSでの情報発信）

農林水産部に配属された場合の勤務地



採用区分とキャリアパス

農林水産部で採用可能な試験区分（大卒程度の場合）

- 国家公務員採用一般職試験（大卒程度）のすべての試験区分を対象に採用予定です。

  ①行政沖縄区分　　②教養沖縄区分（2025年度新設）

  ③技術区分（農学、農業農村工学、デジタル・電気・電子、林学、機械、土木、建築、物理、化学）



- 当部では、事務官（行政区分採用者）・技官（技術系区分採用者）の区別なく農林水産行政に関する業務を行っていただきます（農業農村工学採用を除く）。
  もちろん、文系・理系、出身学部、専門知識の有無は問いません。
  就職後も学び続ける姿勢を持っていれば、自ずと農林水産業についての知識も身についていきます。



農林水産分野に詳しくなくても大丈夫･･･？

行政事務は、農林水産省等の施策の周知や補助金の交付事務、食品に関する事業者等への指導などがメインです。これらの業務を遂行にするに当たって、行政・教養区分の試験を合格された皆様の教養や事務処理能力を必要としております！



近年採用者のキャリアパスの例

係員 → 課長補佐級

- 概ね２年サイクルで異動
- 沖縄総合事務局本局及び農業の現場に近い離島官署に勤務
- 農林水産省又は内閣府（東京都内）へ出向

勤務地について、基本的には県内異動。農林水産省や内閣府等、県外へ出向することも。

【大卒程度の場合の例】

係員 ▶ 係長（８年目以降） ▶ 課長補佐級（19年目以降） ▷ 管理職

（参考）採用区分について

国家公務員一般職試験（大卒程度試験）では、2025年度試験から、「教養区分」が新設されました。

point！

- 憲法や民法、経済学などの専門試験が課されません。
- 一般的な教養や、速く正確に課題を解く能力に関する試験が実施されます。
- 行政区分と同様、自分が働きたい地域を選んで受験可能です。
- 20歳（※１）から受験可能！最終合格後、６年間採用候補者名簿に記載されます（※２）。

（※１）試験年度の４月１日に20歳を迎える方。　（※２）採用された時点で名簿への記載は終了。

【参考】官庁訪問の参加年度

※2026年度以降の採用試験や官庁訪問の日程は、現時点で未定のため、例年どおりの日程を想定して記載しています。

国家公務員採用試験の最終合格者が志望する省庁に採用されるためには、必ず官庁訪問へ参加し、志望省庁から内々定や内定を得る必要があります。

毎年度行われる官庁訪問は「翌年度４月採用に向けた採用選考活動」となります。そのため、採用希望年度を延期し、翌々年度４月の採用を目指すためには、翌年度の官庁訪問に参加する必要があります。

一般職試験（大卒程度試験）に係る採用候補者名簿の有効期間は、最終合格者発表日から、教養区分以外では５年間、教養区分では６年間です。ただし、採用候補者名簿の有効期間内に、内定ではなく「採用」される必要があります（採用候補者名簿の満了年度には参加することができません）。

例えば、2026年度一般職試験（大卒程度試験・教養区分）に最終合格した場合、最長で2031年度の官庁訪問に参加し、2032年４月に採用されることも可能ですが、2032年度の官庁訪問は対象外となります。

例① 採用試験合格年度に官庁訪問し、翌年度４月の採用となるケース

→ 最終合格した年度の官庁訪問に参加し、翌年度４月に採用。最も多いケース。

例② 教養区分に３年次に最終合格、翌年度に官庁訪問し、次の４月の採用となるケース

→ 採用希望年度を１年延期し、最終合格した年度（３年次）の官庁訪問には参加せず、翌年度（４年次）の官庁訪問に参加して翌々年度（卒業後）の４月に採用。

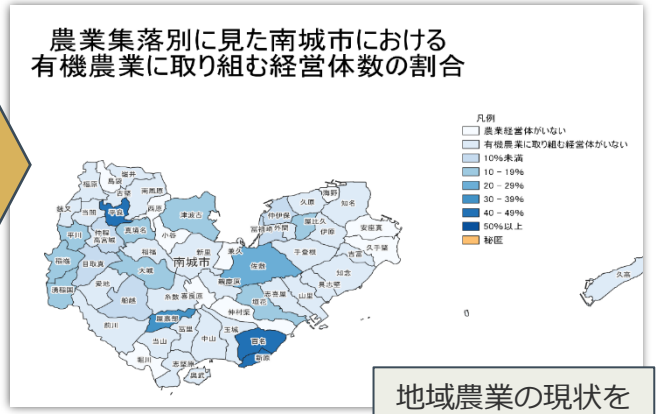
（参考）農林水産行政って具体的に何をするの？

農林水産行政に関する業務

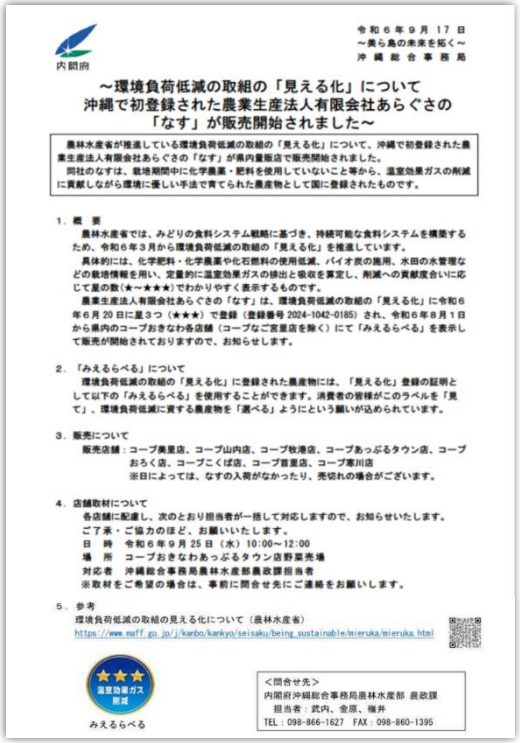
当部には、農業経営の所得安定化対策、農業の有する多面的機能の発揮対策、農畜産物や砂糖類の生産振興、農林水産業に関する統計の作成、輸出の支援、食品の安全性向上の取組、食品産業の振興、森林の整備、漁業の指導監督等、部内各課の所掌する様々な業務があります。

当部職員の具体的な仕事としては、各課が所掌する業務の遂行のため、関係機関との調整、事業者への補助事業等に係る助言・指導・申請書の審査、普及啓発のための情報発信といった仕事や、
これらに伴う行政文書の作成、会計経理といった事務作業を行います。





地域農業の現状を
地図で見える化


令和６年９月17日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

内閣府

～環境負荷低減の取組の「見える化」について
沖縄で初登録された農業生産法人有限会社あらぐさの
「なす」が販売開始されました～

農林水産省が推進している環境負荷低減の取組の「見える化」について、沖縄で初登録された農業生産法人有限会社あらぐさの「なす」が県内量販店で販売開始されました。
同社のなすは、栽培期間中に化学農薬・肥料を使用していないこと等から、温室効果ガスの削減に貢献しながら環境に優しい手法で育てられた農産物として国に登録されたものです。

1．概　要
農林水産省では、みどりの食料システム戦略に基づき、持続可能な食料システムを構築するため、令和６年３月から環境負荷低減の取組の「見える化」を推進しています。
具体的には、化学肥料・化学農薬や化石燃料の使用低減、バイオ炭の施用、水田の水管理などの栽培情報を用い、定量的に温室効果ガスの排出と吸収を算定し、削減への貢献度合いに応じて星の数（★～★★★）でわかりやすく表示するものです。
農業生産法人有限会社あらぐさの「なす」は、環境負荷低減の取組の「見える化」に令和６年６月20日に星３つ（★★★）で登録（登録番号 2024-1042-0185）され、令和６年８月１日から県内のコープおきなわ各店舗（コープなご宮里店を除く）にて「みえるらべる」を表示して販売が開始されておりますので、お知らせします。

2．「みえるらべる」について
環境負荷低減の取組の「見える化」に登録された農産物には、「見える化」登録の証明として以下の「みえるらべる」を使用することができます。消費者の皆様がこのラベルを「見て」、環境負荷低減に資する農産物を「選べる」ようにという願いが込められています。

3．販売について
販売店舗：コープ美里店、コープ山内店、コープ牧港店、コープあっぷるタウン店、コープおろく店、コープこくば店、コープ首里店、コープ寒川店
※日によっては、なすの入荷がなかったり、売切れの場合がございます。

4．店舗取材について
各店舗に配慮し、次のとおり担当者が一括して対応しますので、お知らせいたします。
ご了承・ご協力のほど、お願いいたします。
日　時　令和６年９月25日（水）10:00～12:00
場　所　コープおきなわあっぷるタウン店野菜売場
対応者　沖縄総合事務局農林水産部農政課担当者
※取材をご希望の場合は、事前に問合せ先にご連絡をお願いします。

5．参考
環境負荷低減の取組の見える化について（農林水産省）
https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/being_sustainable/mieruka/mieruka.html

温室効果ガス削減
みえるらべる

<問合せ先>
内閣府沖縄総合事務局農林水産部 農政課
担当者：武内、金原、嶺井
TEL：098-866-1627　FAX：098-860-1395

行政文書の例（プレスリリース）

漁業取締船による
違法操業外国漁船の取締り



また、一般的なデスクワーク以外にも、統計データ整備のための農家訪問や、漁業取締船・航空機による違法操業取締り等についても職員が実施します。
（農林水産省等が実施する専門研修に参加することもあります。）

人材育成

階層別研修

・新規採用職員研修（対象者：新規採用職員）
・係長研修（対象者：係長級の職員）　他

スキル向上・実務研修

《令和７年度に開催された研修の例》

・接遇研修　・ロジカルシンキング研修　・DX理解研修
・後輩サポート力研修　・Excel研修　・論理的文章力研修　他

農林水産部独自の取組

- 職務遂行に必要な基礎的知識の習得や、沖縄の農林水産業の現状や課題、特徴等への理解を深めることを目的として、若手職員を対象とした勉強会（現地研修・座学・グループワーク等）を開催。
- 政策立案や事業推進に必要なデータ活用スキル向上のための統計利活用に係る研修など、農林水産省等が実施する専門研修に参加する機会も。
- 通常のデスクワークとは異なる漁業取締業務の理解のための体験乗船等も実施。



▲統計利活用に係る研修



▲搭載艇体験乗船の様子

★今後も職員のスキルアップのための取組を実施予定です★

令和７年度「政策等PR素材の作成及び報告会」の取組例

令和７年度には、若手職員が担当施策をより深く理解し、対外的な説明能力を養うことを目的とした「政策等PR素材の作成及び報告会を通じた人材育成」の取組を実施しました。



宮古島で生産される農作物について、小学生をターゲットとしたPR資料を作成



周知すべき制度について、ポイントをわかりやすくまとめたチラシを作成



木材利用の意義を伝え、県産木材をPRするため、県産材を使った木製品を製作し、身近なモノの”ウッドチェンジ”を行う動画を作成

若手職員の業務を紹介！

【１年目】農政課　調整係

○ 部内業務の総合調整

→農林水産本省と部内各課との
各種調整・取りまとめ

○ 広報業務

→施策や県内の取組情報等の受発信



農林水産部経営課で経営所得安定対策を担当している上原です！
仕事とプライベートが両立しやすく働きやすい職場環境です。
(右下の写真は石垣産のおいしいお米とパインアップル、統計調査中に出会ったヤエヤマセマルハコガメです🐢)

【２年目】石垣農林水産センター

○ 生産統計調査を担当

畑・田の面積
野菜・果樹・水稲などの作付面積や収穫量

→調査票や農家・調査員からの聞き取り内容を
取りまとめて報告

【４年目】経営課　経営所得安定対策推進係

○ 経営所得安定対策

対象作物：水稲、そば、小麦など

○ 農地利用効率化等支援交付金

農業用機械やハウスなどを
整備したい農家への支援

→主に農水省・県・市町村と
調整し報告

主な経歴　【2021年度採用・農学】

2021.4 ▼ 採用／農政課へ配属
2022.4 ▼ 石垣農林水産センターへ異動
2024.4 ▼ 経営課へ異動　現職

※作成当時













農林水産部の One Day ～とある一日～



農林水産部石垣農林水産センターで農作物の統計調査を担当している2023年度採用の仲間です！
統計業務の１日を例に
仕事の様子を紹介します！

学びながら趣味も充実！
公務員として働くことで様々な分野に携わり、先輩・上司に助けてもらいながら知識を身に着けることができます。
また、定時後の時間を使って趣味を目一杯楽しんでます！！！

出勤。メール・スケジュール確認



出勤してメールとスケジュールを確認！
本局統計調査課へ報告する必要があるものは〆切などをよく確認しないと後々に響きます。

本局統計調査課への報告に向けた検討会



報告書類をまとめて上司と一緒に検討！
複数調査が重なった時は本当に大変ですが、何とかなります。

調査のため圃場へ



石垣管内の水田を実際に見て回ります！
運が良ければカンムリワシなどの珍しい動物にも会えます！

定時に間に合うように切り上げる！！



退庁のため、ソワソワしながらセンターに引き返します。
巡回の場所は時間によって臨機応変に変えたりします。

調査員さんからの調査報告



臨時的に調査業務をお願いする調査員から談笑を交えながら、島内野菜の作付情報、その生育状況等を報告してもらっています。
癒しです。

栄養補給



枯渇した体に栄養をぶち込みます。至福。

10時にはお腹空いてます。
水を飲んで耐えます。

調査、タノシイ



畑の形、作物の種類等を確認しながら、お会いした農家さんにもお話を聞いて報告の参考にします。

退庁後は趣味の時間





農林水産部宮古伊良部農業水利事業所で
広報・地下ダムに関する調査業務を担当している2023年度採用の前泊です！
地下水位観測業務に関する１日を例に仕事の様子を紹介します！

事業所では、現地の状況をよく理解できる貴重な機会が沢山あります！
日々頑張って業務に取り組んでいます！

出勤・メールチェック



出勤して1日のスケジュールを確認します。

業者さんとの打合せ



今日は業者さんとの初回打合せ！
業者さんが作成した計画書の内容を確認します。

現地調査



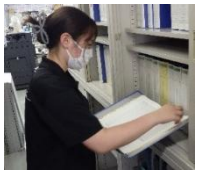
地下水位を観測する場所を確認するため、業者さんと現地へ！
地下ダムの水は地下に貯まるため、地下水位の観測が重要です。

1日の振り返り



今日の作業で漏れがないか、明日やるべきことを整理します。

今日やることの整理



前日までの作業を振り返り！

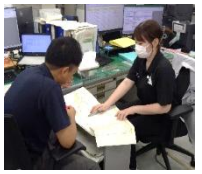
今日やることを整理します。

お昼休み



同僚とお昼ご飯！
癒しの時間～☺

デスクワーク



打合せの内容をもう一度おさらい。
何をいつまでに進めるのか上司へ相談！

退庁します！

技術区分採用の先輩職員に聞く仕事の魅力

2019(平成31)年度採用
採用区分：林学
林務水産課　林政係

髙良　美沙希

2019.4　採用／統計調査課
2020.4　石垣農林水産センター
2022.4　農林水産省（出向）
2024.4　現職



※作成当時

▸ 採用区分と現在の業務内容は？

私は林学区分で採用され、現在は林務水産課で林政業務を行っています。主に治山事業を担当しておりますが、林野庁や沖縄県庁と連携しながら、円滑な事業の執行に向けて調整を行っています。

大学では森林政策学を専攻しており、治山工事や土木に関する専門知識を持っているわけではありませんが、分からないことは上司に教えていただき、日々勉強しながら業務に励んでいます。

▸ 職場の雰囲気は？

農林水産部内はとても雰囲気が良く、所掌業務に関わらず若手職員をサポートしてくださるので、毎日楽しく仕事をすることができています。

▸ 仕事の魅力は？

林学区分の採用ですが、林業だけでなく、農業や漁業に関する業務を行うこともでき、幅広く沖縄の農林水産業に携われるところが当部で働く魅力だと感じています。

2021(令和３)年度採用
採用区分：農学
農政課　情報管理専門職

登川　隼斗

2021.4　採用／経営課
2022.4　名護農林水産センター
2024.4　農政課
（2025.4　農林水産省へ出向）



※作成当時

▸ 採用区分と現在の業務内容は？

私は農学区分で採用され、現在は農政課で勤務しています。農政課は、農林水産部の所掌事務に関する総合調整を行っていますが、私は主に情報システム関係の管理や調整等（職員が職場で使用しているPCの管理やHP掲載等）の業務を行っています。

▸ 職場の雰囲気は？

元々情報システムについて詳しくはなく、初めて知ることや学ぶことも多いですが、職場内の雰囲気も良く、先輩や上司、周りの職員にもに相談しやすいので楽しく業務を行えています。

▸ 仕事の魅力は？

現職の業務は、職場内の職員とのやりとりがメインです。農水部職員は200名程いますので、システム関係の問合せは常にあり忙しい時期もありますが、職員から直接感謝の言葉をいただく機会も多く、そこがこの仕事の１番の魅力だと思います。

行政区分採用の先輩職員からのメッセージ

2023(令和５)年度採用
採用区分：行政沖縄
石垣農林水産センター　一般職員
佐久間　沙愛

2023.４　採用／消費・安全課
2024.４　現職



※作成当時

▸ 学生時代の専攻と採用後の業務内容について

大学では法学部に所属しており、政策学を専攻していました。採用後2年目に石垣島の事務所へ異動となり、現在は石垣農林水産センターの庶務・経理業務を担当しています。また、農作物の生産量を調査する、生産統計業務も担当しています。

▸ 仕事を通してのやりがい

現在担当している農林水産統計は、政策の企画・立案につながる重要なデータとなるため、責任も伴いますが、同時にやりがいを感じています。また、離島での業務は、農家さんにお会いする機会も多く、現場の様子や生の声を聞くことができ、とても貴重な経験となっています。

▸ 農林水産部を目指す学生へのメッセージ

業務では、農業の専門用語が難しかったりと、苦戦する場面もありますが、上司や先輩方が優しくサポートしてくださるので、日々楽しく業務に取り組めています。

農林水産部の仕事内容は、なかなかイメージができないと思いますが、皆さんにとって身近な「食」を支えるやりがいのあるお仕事です。少しでも興味を持った方は、ぜひ一度、業務説明会にご参加ください(^^)

2019(平成31)年度採用
採用区分：行政沖縄
生産振興課　環境事業調整係
兼島　直哉

2019.４　採用／経営課
2021.４　石垣農林水産センター
2022.４　石垣島農業水利事業所
2023.４　生産振興課
（2025.4　農林水産省へ出向）



※作成当時

▸ 学生時代の専攻と採用後の業務内容について

学生時代は、産業経営学科でサービスマーケティングを専攻しておりました。

採用後は、農地の適正利用を確保するための規制業務や、ロボット・AI・IoT等の情報通信技術を活用した「スマート農業」を推進する業務、「有機農業（オーガニック）」を推進する業務などを担当しています。

▸ 仕事を通して成長したこと・仕事のやりがい

仕事の相手方は、農家さんから行政、機械メーカー、スタートアップなど多岐にわたります。役職を問わず様々な方と関わることで、多角的な視点で考える力や多様な知識を習得でき、継続して成長できる点にやりがいを感じています。

▸ 農林水産部を目指す学生へのメッセージ

農業分野の知識だけでなく、法律や経営的知識など多様な知見を持って、国や地域の課題に向き合って支援をしていくお仕事です。文系であっても活躍できる職場になっていますので、是非、説明会にご参加ください。

ワークライフバランス①

国家公務員は家庭と仕事の両立支援制度が充実しており、沖縄総合事務局においても、すべての職員が働きやすい環境づくりに取り組んでいます。
令和７年４月に、育児や介護のための両立支援制度が拡充されました。

妊娠・出産・育児に関する両立支援制度等

	妊娠中	出産後
女性が対象	深夜勤務・時間外勤務の制限 健康診査・保健指導を受けるための職務専念免除 業務軽減 休息・補食のための職務専念免除 通勤緩和のための職務専念免除 通勤緩和のための休憩時間の短縮	健康診査・保健指導の際に医師等から指導を受けた場合の措置
男性対象	産前休暇	産後休暇 配偶者出産休暇 育児参加のための休暇 → 休業・休暇





妊娠 ● 出生 ● 1歳 ● 3歳 ● 小学校入学 ● 小学校３年生 ● 卒業

出生サポート休暇

不妊治療に係る通院等のための休暇。
性別、年齢を問わず、第２子以降のためにも使用することが可能。

女性・男性ともに対象

- 育児休業
- 子の看護等休暇
- → 休業・休暇
- 勤務時間を短くする
  - 保育時間
  - 育児短時間勤務、育児時間
- 勤務時間帯を変更する
  - 深夜勤務の制限、超過勤務の制限・免除
  - 早出遅出勤務、休憩時間の短縮・延長

フレックスタイム制

ワークライフバランス②

家族を介護する職員が利用できる両立支援制度を紹介します。両立支援制度を取得できる職員は、配偶者、父母等（※）で負傷、疾病又は老齢により２週間以上にわたり日常生活を営むのに支障がある者（要介護者）の介護を行う職員です。短期介護休暇については、要介護者の「介護」を行う職員のほか、「その他の必要な世話（手続の代行等）」のみを行う職員も対象となります。

（※）対象となる親族の範囲
【同居不要】配偶者、父母、子、配偶者の父母、祖父母、孫、兄弟姉妹
【同居必要】父母の配偶者、配偶者の父母の配偶者、子の配偶者、配偶者の子

介護との両立支援制度

フルタイム勤務のまま勤務時間を変更したい

フレックスタイム制	早出遅出勤務	休憩時間の短縮	休憩時間の延長
単位時間（１～４週間）における全体の勤務時間数を変えることなく、１日の勤務時間数や勤務時間帯を柔軟に設定。勤務時間を割り振らない日を１日追加することも可能。	１日の勤務時間の長さを変えることなく、始業・就業時刻の繰上げ／繰下げ。（あらかじめ定められたパターンの中から選択）	休憩時間を短縮し早く退庁することができる。	在宅勤務の前後の休憩時間を介護に必要な範囲内で延長することができる。



休暇を取って介護を行いたい

介護休暇	介護時間	短期介護休暇
介護を必要とする一の継続する状態ごとに、通算して６月の期間内（３回まで分割可）において必要と認められる期間、勤務しないことができる。	介護を必要とする一の継続する状態ごとに、連続する３年の期間内において１日につき２時間以内で勤務しないことができる。	要介護者の介護及び要介護者の必要な世話のため、年間５日まで勤務しないことができる。（要介護者が２人以上の場合は10日）

超過勤務や深夜勤務を避けたい

超過勤務の免除	超過勤務の制限	深夜勤務の制限
超過勤務をしないことができる。	１月につき24時間、１年につき150時間を超える超過勤務しないことができる。	深夜勤務（午後10時から翌日午前５時まで）をしないことができる。

仕事と家庭の両立体験談

農政課　農政推進専門職

飛矢　舞

2016.12　育児休業(１回目)
2017.10　復職
2023.6　育児休業(２回目)
2024.4　復職／現職



※作成当時

▸ 活用した主な両立支援制度について

二度の妊娠・出産に際し、産前・産後休暇のほか、育児休業（各約10ヶ月間）を取得しました。復職後は、早出出勤や休憩時間短縮（60分を30分に短縮）の制度を活用しています。

▸ 仕事と家庭の両立について

現在、小学生と保育園児の子２人の育児中で両親共働きですが、各種両立支援制度の活用によりフルタイム勤務を継続出来ています。保育園へのお迎え等のために残業を減らせるよう、勤務時間内での効率的な業務を心がけています。

年次休暇等も取得しやすい環境なので、平日の学校行事への出席や、子どもの急な体調不良等にも対応することができています。

▸ 沖縄総合事務局を目指す方へのメッセージ

働きながらの育児は大変なことも多いと思いますが、子どもたちが暮らす未来の沖縄の食に係る業務に携わることができる、やりがいのある職場です！

林務水産課　企画指導官

安仁屋　真之

2023.7　育児休業
2024.6　復職／現職



※作成当時

▸ 活用した主な両立支援制度について

第一子が生まれてから、育児休業を約１年間取得しました。復職後は、早出出勤し、終業時刻を繰り上げるフレックスタイム制の制度を活用しています。

▸ 仕事と家庭の両立について

極力残業をしないよう計画的・効率的に定時内で業務を処理できるよう努め、フレックスタイム制を活用し、終業時刻を繰り上げることによって、子供と過ごす時間を確保し、充実した親子のコミュニケーションが取れています。

▸ 沖縄総合事務局を目指す方へのメッセージ

沖縄総合事務局農林水産部は沖縄の「食」と「環境」を継承していくために、農業、林業、水産業の基盤整備をはじめ、農林水産業の各種施策の事業実施に携われるので、いろんな経験ができます。

国家公務員一般職（大卒程度）の勤務条件

給与・手当

※初任給及び諸手当の額は、令和８年4月1日時点の給与の一例です。

➢ 初任給の例

行政職員（行政(一)１級25号俸の場合）：232,000円

👉 令和７年、行政課題の複雑化・多様化や厳しい人材獲得競争を踏まえ、公務の職務・職責を重視し、官民給与の比較対象が「50人以上」から「100人以上」に引上げられ、昨年を大幅に上回る引上げ改定となりました！（大卒一般職の初任級で＋12,000円）

➢ 諸手当の例

国家公務員の給与は、俸給（基本給）とそれを補完する諸手当からなり、次のようなものがあります。

【扶養手当】
扶養親族のある者に支給。子月額13,000円等

【住居手当】
借家（賃貸のアパート等）に住んでいる者等に、月額最高28,000円

【通勤手当】
交通機関を利用している者等に定期券相当額等

【単身赴任手当】
採用・異動に伴ってやむを得ない事情により配偶者と別居した者等に月額最高100,000円

【期末・勤勉手当（いわゆるボーナス）】
１年間に俸給等の約4.65月分

【広域異動手当】
広域的な異動等を行った者に、官署間の距離に応じ異動等の日から３年間支給

【超過勤務手当】
正規の勤務時間を超えて勤務した者に、勤務時間数に応じて支給

勤務時間・その他



➢ 勤務時間・休暇

【勤務時間】
原則１日７時間45分、土日祝等の休日は休み

【休　　暇】
年次休暇（年20日(４月採用の１年目は15日)。20日を限度に翌年に繰り越し。）
そのほか、病気休暇、特別休暇（夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等）及び介護休暇等

➢ 福利厚生の例

【合同宿舎への入居】

離島等に勤務する職員や、頻度高く転居を伴う転勤等をしなくてはならない職員等、職務遂行上必要な場合、合同宿舎に入居することが可能です（那覇地区、名護地区、宮古島地区、石垣地区）。

➢ 内閣共済組合

共済組合制度は、社会保障制度の一環として設けられている制度で、組合員による掛金及び事業主（国）の負担金を財源としています。



組合員とその家族の病気、負傷、出産等の場合の医療給付（短期給付）や、退職、障害あるいは組合員死亡後の遺族等に対する生活の安定のための年金給付（長期給付）、そのほか、健康診査や貯金・保険、住宅所得資金等の貸付け等（福祉事業）の制度が利用できます。

よくある質問

Q．異動や転勤は多い？

基本的には２年を目安に異なる部署に異動します。定員の多い那覇市の本局で勤務する機会が多いです。
若手～中堅の頃に、仕事のフィールドが生産現場に最も近い離島や本島北部の出先官署で勤務するパターンも多く、その経験がのちのち役に立ってくると思います。

Q．上司の対応や職場内の雰囲気は？

各職員、各々担当する業務を責任をもって遂行する必要がありますが、各業務に指揮系統ラインがしっかりあるため、若手でも上司に相談しながら安心して働くことができる風通しの良い職場です。職場の雰囲気は、職員が県内各地で購入してきた旬のフルーツが休憩時間に振る舞われることもある等、楽しみながら業務を行っています。

Q．業務外のコミュニケーションは？

共通の趣味をもつ職員同士、スポーツや釣り、音楽等の活動を楽しむなど仲の良い職場です。
飲み会で職員の意外な一面を発見したり、お昼時間も何気ない会話で盛り上がったりします！

Q．農業に詳しくなくても大丈夫･･･？

実は、職員の約４割が行政区分での採用なんです。採用後、定期的な異動の度に担当業務について学び続けることで自ずと知識が身についていくのでご安心ください。
生産者の方を訪問する際に、取組の工夫や苦労している点など伺うことで、他地域に広く展開すべき優良な取組や現場の実情を把握するなど、現場で学ぶことも非常に多いです。

Q．残業は多い？家庭との両立は可能？

自分の時間もしっかり持つことができます！
定時退庁日の設定や、業務効率化・ワークライフバランス推進のための目標を人事評価に設ける等、超過勤務縮減や柔軟な働き方の推進に組織として取り組んでいます。フレックスタイム制や時差出勤等を活用する職員も多くいます。

Q．農林水産部ならではの魅力は？

国の政策を進める国家機関でありながら、沖縄県１県のみを所管するため現場との距離がとても近く、県や市町村とも連携して沖縄の食と環境を支える農林水産業発展のために力を注ぐことできることが当部ならではの魅力の一つです。

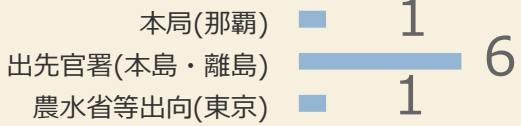
採用情報に関するご案内

近年の採用実績

2024(令和６)年度

新規採用４名（男３／女１）
選考採用４名（男２／女２）
（一般職係長級（技術系））

(参考)採用３年目の配属先



2025(令和７)年度

新規採用５名（男２／女３）
選考採用４名（男３／女１）
（一般職係長級（技術系））

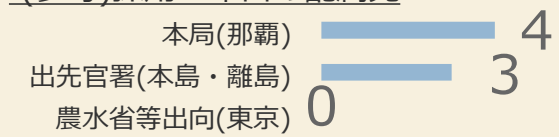
(参考)採用２年目の配属先



2026(令和８)年度

新規採用７名（男４／女３）
選考採用ー

(参考)採用１年目の配属先



（参考）2026年度一般職試験(大卒程度) 採用スケジュール

試験申込期間	２月19日(木)～３月23日(月)
第１次試験	５月31日(日)
第１次試験合格発表	６月24日(水)
沖縄総合事務局 業務説明会（局全体／農林水産部）	７月６日(月)～７月23日(木)
第２次試験（人物試験等）	７月８日(水)～７月24日(金)
沖縄総合事務局 官庁訪問	７月28日(火)～８月10日(金)
最終合格発表	８月12日(水)
内定	10月１日(木)以降

★農林水産部では、部の業務に関する説明会や職場訪問会を不定期に開催する予定です。
開催案内については、沖縄総合事務局HP及び農林水産部Ｘを通じて告知します。是非お気に入り登録・フォローをお願いします！

局HP：採用情報一覧　局HP：部の概要　局農林水産部Ｘ

農林水産部では、出身大学（学部）等を問わず、面接による人物重視の選考を行っています。
沖縄の農林水産業の振興、農山漁村の活性化に寄与したいという意欲にあふれた方をお待ちしております！

▸お問合せ先
沖縄総合事務局 農林水産部 農政課
☎ (098)866-1627（直通）